

特別講義

Professor Nikolai Nikolaevich Petrukhintsev

シンポジウム「ロシアの近代化過程を考察する」 —ニコライ・ペトルヒンツェフ教授を招聘して—

日時：2019年6月22日（土）13：00-17：00

場所：明治大学駿河台キャンパス
リバティータワー 1095教室（9階）

報告者：

- ニコライ・ペトルヒンツェフ（略歴は下を参照）
「アレクセイ・ミハイロヴィチとピョートル1世：
2つの近代化する軍事改革とロシア社会へのその影響」
- 田中良英（宮城教育大学教授）
「18世紀ロシアの近代化と外国人—同時期のヨーロッパ史の文脈において—」
- 鳥山祐介（東京大学准教授）「万人のためのロシア語：
エカテリーナ二世期におけるロシア語の「近代化」」

使用言語：ロシア語（通訳あり）

参加対象者：学部学生、大学院生、研究者



講演詳細

Prof. Nikolai Nikolaevich Petrukhintsev （ニコライ・ペトルヒンツェフ教授）

1961年生まれ、モスクワ国立大学卒業、同大学院修了、歴史学博士、
リペツク国立教育大学教授を経て、現在ロシア大統領科学アカデミー
国民経済・公共行政研究所 (РАНХиГС) リペツク市支部教授。

主著に『アンナ・イオアンノヴナの治世：
国政方針の形成と陸軍と海軍の運命』サント・ペテルブルク：
《アルティア》社、2001年と『アンナ・イオアンノヴナの内政
（1730～1740年）』モスクワ：
《政治百科事典（ロスペン）》社、2014年がある

コーディネーター：文学部 豊川教授 (toyokawa@meiji.ac.jp)

講師紹介